

新千里東町地域自治協議会第9回理事会議案書案

日時：1月20日(日)10:00～ 場所：東町会館2階集会室

議案

1. 前回議事録の確
2. 委員会報告
 - ・ 防災委員会
 - ・ 環境委員会
 - ・ 近隣センター移転計画対策委員会
3. キャンドルロードふりかえり会の報告
4. その他
 - (1) 赤い羽根共同募金報告
 - (2) 北大阪急行電鉄よりのお知らせ
 - (3) 団体よりの報告

次回理事会の案内

2018年度第10回理事会日程 2月17日(日)10:00～
東町会館2階集会室

第8回新千里東町地域自治協議会理事会議事録

日時 2018年12月16日(日) 10時00分～12時15分
場所 新千里東町会館 2階集会室
出席者 **理事** 総数20名中、出席者18名
小川(会長)、山本(副会長)、藤岡(書記)、中井、橋本(代理:北島)、
梶原(代理:木村)、我堂、園田、大宅、森岡、伏原(代理:谷口)、廣瀬、
寺村、原、福岡、清水、勝久、鈴木、(欠席:花城(副会長)、藤谷、)
監事: 植田、(欠席:中須)、**相談役**: 欠席(東丘小校長・上田)、
事務局: 玉富、**オブザーバー**: 兵頭(自治会)、石塚(豊中市)

議事

1. メゾン千里SMSより情報提供

メゾン千里の建て替え計画の検討状況について、メゾンSMS委員会から情報提供がありました。(メゾン千里は棟毎に管理組合があり、敷地もD3棟～D5棟とD6棟及びD7棟の4つに分かれている。)

なお、今回の情報提供は合意形成の場ではなく、今後、メゾン千里において説明会を開催するなど、別途、合意形成の場を設ける予定です。

メゾン千里SMSからは、計画案の概要について、次のとおり説明がありました。

- ・ D7棟を除く4棟は現行の耐震基準(震度6強対応)を満たしていないうえ、築49年を経過し地域暖房の熱供給管の老朽管など設備の維持管理コストが増加していることから、建て替えをする必要に迫られており計画したもの
- ・ マンション建替型総合設計制度を利用して、1棟の高層マンションの建築を検討中(50階建程度)
- ・ マンション建替型総合設計制度を利用した場合、容積率は200%から300%に緩和

この説明に対して、以下のような質疑・要望がありました。

(質問) 桜ヶ丘の建替えでは、一団地の建替制度の適用で、しかも千里ニュータウン内のルールということで、容積率は195%で19階建てに抑えられた。今回は、なぜ、複数棟が建つ一団地の建替制度ではなく、マンション建替型総合設計制度を利用したのか?

→ マンション建替型総合設計制度は、桜ヶ丘の建替えの際にはなかった新しい制度です。マンション建替型総合設計制度では、複数棟は認められず、1棟のみの建築となります。建替えのコスト等を総合的に検討し、実現可能な案として、50階程度の高層マンション1棟を計画したものです。

(質問) 敷地の一部を売却する計画はありますか?

→ 売却する計画はありません。現在の計画案の延べ床面積の建物を建てるためには、現在の敷地が全て必要です。

(質問) 豊中市では、今回の計画案について、了解していますか？

→ どのような内容であっても、相談があれば拒むことはできません。地域での合意形成は、別途、進めて欲しい。

(要望) 新千里東町2丁目は住居系の地域であり、道を隔てた商業地域とは異なり、高層マンションは相応しくないと思う。

(要望) 住民は、もみじ橋通りから駅に向かう最短コースを選択しており、メゾン千里の敷地内を通るもみじ橋通りから阪急百貨店横に降りる通路も、利用させていただいています。今回の計画案に盛り込まれている新たなバリアフリーな遊歩道は大きく迂回するルートになるので、代替できない。

→ 長谷橋に車道に降りるエレベータを設置することを考えている。

〔説明者 : メゾン千里SMS委員会：加藤委員長、竹中工務店：中西さん、
ゼンクリエイト：根津さん、
豊中市千里ニュータウン再生推進課：坪井さん〕

2. 前回理事会議事録の確認

2018年度第7回理事会議事録について報告、確認を行いました。

3. 各委員会の活動報告について

1) 防災委員会は、11月18日に防災訓練を実施し、各自治会・管理組合などから223人の参加(女性防火クラブから集計結果とは別に25名参加)がありました。参加者アンケートでは、全体的な感想として「良かった」という声が多く、中学生の参加があったことやスタンプラリーを実施したことなど、今年度の新たな試みも好評でした。

なお、出席者からは、以下のような声がありました。

- ・今回は、防災訓練の詳細が決まるのが遅かった。
- ・ガールスカウトから盛りだくさんのメニューの提案があったが、対応しきれなかった。
- ・次年度は、早い目に企画し、内容の打合せを進めたい。

また、防災委員会では、12月18日(火)19時から、新千里東町会館で防災訓練のふりかえり会を開催します。

2) 環境委員会は、新千里東町公園の愛護活動「かぐや」の3回目を11月25日に実施しました。今回は、東町公園で活動している団体から若い世代の参加(ファイティングビーの男性と女性(運搬))があり、伐採した竹の運搬などが予定よりも早く進みました。また、竹に詳しい地域のベテランの方からは、竹の伐採方法などについて、技術的な指導をいただきました。

3) 近隣センター移転計画対策委員会は、12月11日に第2回委員会を開催しました。新地区会館の内装と外観、内部と外部との繋げ方の3点について地域の意見を集約していくため、2月16日(土)午後ワークショップを開催します(時間は未定)。市と協議を行い、2019年3月末までに決定していく予定です。

4. キャンドルロードふりかえり会について

- 1) 1月14日(月・祝)19時から新千里東町会館で、東町キャンドルロードのふりかえり会を行います。なお、先にお願ひしたアンケートは、12月25日までにご回答をお願ひします。

5. 連絡事項等

- 1) 地域全般に関わる事項について要望がある場合(緊急の事案は除く)は、協議会が地元意見として取りまとめを行いますので、自治会・管理組合を通じて協議会へお申し出ください。(お願ひの文書を配付)

マンションが個別に公園の樹木の伐採を要望しても市役所では受け付けて貰えず、協議会を通じて要望書を提出するように指示を受けた事例もありました。

- 2) 新聞委員会から、広報誌「ひがしおか」は2019年1月号から、直送による配付を実施する方針であることが報告されました。

調査票の提出がないマンションについては直送を希望しないものとして取り扱いますので、未提出のマンションは本日の理事会の後又は遅くとも年内に会計の清水さんのポストに提出するよう依頼がありました。

なお、直送のための費用については、新聞発行費用に含めることとしますが、以下の2点について確認した後の決定となります。

- ① 協議会への交付金の対象となるかどうか
→ 豊中市に確認(不可の場合は4団体で均等割りで②へ)

- ② 自治協議会の予算 → 予算枠の確認

また、2019年1月号は1月16日頃の発行となることが報告されました。

- 3) 次の各点について、お知らせがありました。

- ・豊中市役所より、新千里東町3丁目での水道管工事(工事期間:11月30日から3月15日まで)のお知らせがありました。また、人権研修のお誘い(2月7日~9日の間、各日13:30頃~17:00頃)のちらしが配付され、希望者の参加について依頼がありました
- ・UR都市機構より、新千里東町団地先行区建設工事の工事新聞の配付がありました。(今後、不定期ですが、小学校、こども園に配付しているものと同じものを、提供いただけます。) なお、これは前回の理事会での要望を受けたものです。
- ・豊中警察から、歩行者及び自転車専用道における原付通行の禁止について、ちらしの配付がありました。(ちらしの掲示・各戸配付依頼)
- ・東町シニアクラブ連絡会より、第5回東町シニアクラブ対抗カーリンコン大会(1月30日13:30~15:30)の開催案内がありました。また、12月19日に東丘小学校の2年生と世代間交流としてカーリンコンを行うこと、カーリンコンを始めてみたい人向けにインストラクターを派遣する用意があることの2点について、報告がありました。
- ・公民分館より、2019年新春かるた大会(1月27日10:00~12:00)の開催の案内がありました。(ちらしの掲示依頼有)また、1月末を目途に、50周年記念事業としての記念品の贈呈について、各自治会から提案をするよう依頼がありました。
- ・防犯東丘支部から、年末合同パトロールを12月27日から29日まで実施するので、パトロールへの積極的な参加と提灯の掲出について、依頼がありました。また、歳末特別警戒のポ

スターなどの掲示の依頼がありました。

- ・ 8中よりクリスマスコンサート（12月21日15:00～16:30）の開催の案内がありました（ちらしの掲示依頼有）なお、自治協議会も、開催に協力しています。
- ・ 校区福祉委員会から、2月に募集する社会福祉協議会の賛助会費について、協力の依頼がありました。
- ・ 新千里東町の地区内の豊中市設置の防犯カメラ29基の更新が完了し、現在、稼働しています。

4) 校区福祉委員会が2月24日に実施する避難行動要支援者の安否確認訓練に関して、地域内から、以下のような苦情があることが報告されました。

- ・ 説明もなく、電話1本で協力者になるよう言われた。
- ・ かつて、福祉委員会の活動に協力したことがあるだけなのに、説明もなく協力者の名簿に掲載されてしまった。
- ・ 自治会からの代表として出席しているだけなのに、11月25日の会議で、協力者の名簿に名前を書くよう、強制されそうになった。
- ・ 配付された資料の内容が分かりにくい。また、安否確認の方法や出席者の位置付け・役割などを含めて、全般的に説明不足である。

これに対して、守秘義務のある個人情報を取り扱うことになるので、協力を求めるのであれば、協力者としての任期や取り扱う情報の内容、守秘義務などを丁寧に説明し、同意を得たうえで協力者になって貰う必要があるとの意見が出されました。

5) 次回の理事会は、1月20日（日）10時から新千里東町会館で開催します。

以上

2018年度 防災訓練振り返り会

開催日時 2018年12月18日(火) 19時～21時00分

開催場所 東町会館2階集会室

出席者 小川、山本、藤岡、勝久、鳥山、梶原、伊藤哲、木村、角、丹下、岩本、
須藤、田尻、石丸、尾上、田中、花城(オブザーバー)

1 今年度の防災訓練の振り返りについて

①アンケート結果の紹介

防災訓練の参加者に回答をお願いしたアンケートの集計結果を、事務局作成の資料にしたがって説明しました。

②防災委員からの意見・提言について

出席した委員から、防災訓練を振り返り、意見・提言を伺った。

【防災訓練の感想】

- ・液状化実験が良かった。
- ・中学生の参加が良かった。
- ・中学生やガールスカウトの参加が良かった。
- ・ブースが運動場全体に広がっていたため、全体的として閑散としているように見えた。→このため、人が集まりにくかった？
- ・備蓄があるのを知ったのは、良かった。
- ・グリコのブースは、閑散としていた時間帯が多く、人が必ず通る入口近くに置いた方が良かった。

【スタンプラリーの課題】

- ・防災資器材のブースでは、スタンプを押すだけの役割であったが、本当に見たのか、景品欲しさだけだったのかの見極めが難しかった。
- ・受付でスタンプラリーのカードを回収し、景品を渡していたが、AとBの押印漏れが多かった。
- ・消防服着用のブースは、スタンプラリーの対象になっていなかったこともあり、立ち寄る人も少なく、閑散としていた。
- ・A～Dの4班に分けて会場を回るようにしていたが、指示どおりに回らない人もいて、混乱していた。
- ・きっちりと回ってもらうためには、何らかの対策が必要と思われた。
- ・会場全体を見ていると、指示どおりに回っているグループは、分かった。
- ・子どもは、各ブースではきちんと整列していた。子供に各ブースをきちんと回ってもらうような方法は、必要と思う。

【訓練の成果】

- ・豊中市の防災資器材庫にあった非常用発電機を運転しようと思ったが、発電機のスタートキーと軽油タンクの保存箱のキーが見つからず、運転できなかった。

→ 当日来場していた第8中学校の教頭先生がキーの保管場所を知っていたため、東丘小学校の校長先生がキーの保管場所を知ることができた。(前任者からの引継ぎが不十分、訓練の最大の成果)

キーが、東丘小学校の職員室にしかないというのは、課題。

【今後に向けての提言】

- ・ 停電対策とか情報伝達訓練とか、より実践的な訓練を実施してはどうか。
- ・ 訓練当日の午前中にテントを張るのは、メンバーによっては、厳しいかもしれないので、時間的な余裕をもって準備することが望ましい。
- ・ 他の地域での訓練との兼ね合いで、消防署からの派遣が、車両2台になったため、起震車や煙ハウスなどの訓練らしいものがなかった。日程と企画を早期に決めて、消防と調整することが必要と思う。
- ・ マンション毎に実施している防災訓練(避難訓練)と東町全体で実施する防災訓練とで役割を分担し、東町全体の訓練はマンション毎の訓練のフォローに徹した方が良いと思う。
- ・ 中学生、ガールスカウト、ボーイスカウトが参加の意向を持っているので、参加して貰えるようにしたい。
- ・ AEDや心肺蘇生法の講習、水消火器、起震車や煙ハウスも、メニューに加えたい。

【プラカード】

・ マンション毎に、プラカードを先頭に東丘小学校に集合し、会場内でもプラカードを目印に移動すると円滑に場内を移動できるのではないかな？

→ プラカードを掲げると住んでいるマンションが特定される懸念もある(特に女性と子供)。それに加えて、東丘小学校の前校長先生から、プラカードと一緒に児童が撮影され、インターネット上で公開されると、どこのマンションの児童であるかが分かってしまい、しかも一生消せない、との指摘があり、数年前に使用を取り止めた経緯がある。

【その他】

- ・ 今年度は、強い地震や台風の暴風があったのにも関わらず、参加者が増えなかった。 → 参加者を増やすことが課題。
- ・ 豊中市まちづくりセミナーの講師の方も、防災訓練の参加者を増やすためには、初心者でも参加しやすいよう敷居を下げる(参加して楽しい)ことが必要と言っている。

③次年度の防災訓練について

消防署の仮予約が2月から可能になるので、以下の日程を候補日として仮予約を行うこととしました。

(消防署が忙しいのは10月、豊中市内の防災訓練が多いのは11月)

第1希望 : 11月16日(土)又は17日(日)

第2希望 : 9月28日(土)又は29日(日)

また、次年度の早い時期に、防災訓練の企画を検討することとしました。

2 備蓄品の補充について

- ・ 有効期限を迎えている備蓄品(即席おかゆ、常備用カレー職人、保存水2ℓ)のうち、即席おかゆと保存水2ℓについて、新たな購入品の検討を行いました。

- ・即席おかゆに関しては、防災訓練での試食の際に「味が薄くて美味しくない」との意見があったため、「にんべん【かつお節入り】だしがゆ」を代替品として提示し、意見交換を行いました。

現在の備蓄品である「即席おかゆ」は、塩分が薄いですが、乳幼児でも食べられる塩分の少ないものであり、一定数は必要であるとの意見が出され、現在の備蓄量の半数に当たる 125 食程度は「即席おかゆ」と同等のものを購入し、残りの 125 食程度は「にんべん【かつお節入り】だしがゆ」等を購入することにしました。

- ・保存水 2 ℓ については、15 年保存の保存水が発売されたことから、これへの代替を提案し、意見交換を行いました。
2 ℓ の保存水は重たくて参加賞などとして配付しにくいという意見が出され、現在の備蓄量の半数に当たる 150 本分は保存水 2 ℓ として購入し、残りの 150 本分は保存水 500 ml で購入することとしました。また、保存水 2 ℓ は 15 年保存の保存水を購入し、保存水 500 ml はこれよりも短い保存期間のものを購入することにしました。
- ・備蓄品の候補として、紙おむつ（大人用、子ども用）、子ども用ミルク等が提案されましたが、紙おむつは保存スペースとして十分な広さがないため、子ども用ミルクは賞味期限が 1.5 年程度と短いため、今回は購入を見合わせることにしました。
- ・なお、補充用の備蓄品を購入した後、予算に残額があれば、非常用発電機やバール、つるはし等の工具類を購入することとしました。
- ・また、以下のような質疑がありました。

（問） 備蓄用の食料品は、かなり高価なので、日常使用するものをローリングストック法で備蓄するようにはどうでしょうか？

（答） 地域自治協議会の備蓄倉庫は、避難所である体育館内のステージの床下であり、日常的に立ち入れる場所にはなく、ローリングストック法での備蓄に対応できる場所ではありません。また、避難所での使用を想定すると、調理用の水が十分になかったり、調理に必要な燃料もなかったりする状態での利用も想定する必要があり、防災用の食料品を備蓄しています。

なお、家庭ではローリングストック法での備蓄が、負担が少なく有効な方法であり、今年の防災訓練ではローリングストック法での備蓄を進める農林水産省のパンフレットも配付しています。

3 その他

- ①「豊中市への要望についてのお願い」を配付し、豊中市への要望事項は地域自治協議会を通じて行うよう依頼しました。
- ②次回の防災委員会は、1 月 21 日（月）以降に開催する予定です。また、議題は、備蓄品の補充（購入）、来年度の事業計画及び予算を予定しています。

2018年度12月 環境委員会議事録

日時：2018年12月19日(土) 19:00~20:10

場所：東町会館1階集会室

出席者：和田委員長・勝久副委員長

小川、今井(加藤代理)、梶原、美和、丹下、豊永、森岡・兵頭
井上、福岡正、福岡鈴

欠席：伏原、太田、西村、

1. 報告事項

・公園愛護活動プロジェクト「かぐや」について

11/25に3回目の活動を10名で行いました。

ファイティング・ビーのコーチ、保護者の方たちが、伐採した竹の集積を手伝ってくださったおかげで2~3ヶ月かかるところを一気に終わることができました。また、若手のメンバーも枝打ちを楽しみながら作業していました。

途中から竹に関するベテランの方も手伝いに来てくださり、いろいろご指導いただけたおかげで30分の延長で何とか片づけることができました。また、3日後くらいには、豊中市の方で集積した竹や倒木を全部持って行ってくださり、今はとてもきれいな状態になっているとの報告がありました。

・アダプト清掃活動について

この活動が始まって18年くらいになるが、前は参加者も少なかった事に加え、東町住民に認知されているとは言えないので、ビラを作成して活動をアピールしてはどうかとの意見がありました。

アダプト担当リーダーより、「今月は23日、9時から活動を行うので、声掛けをお願いします。ガーデンヒルズや桜ヶ丘など参加が多いです。自治会の役員として最初から参加してくださっている人も半分くらいはいますが、自主的に参加して下さる方や子ども達の参加をもっと増やしていきたい。」との報告がありました。

その他の意見として、タバコや空き缶(アルコール)など落ちていることが多く、大人のマナーが悪い。「禁煙道路」と表記されている看板の経年劣化も酷いので、看板の更新を検討してもいいとの意見がありました。

・てによこのキリシマツツジについて

以前から通り抜けのために、2,3か所踏み倒されていましたが、最近かなり歯抜けの状態になっています。補植を市に依頼したいと思います。できれば片側だけでも柵を付けてもらえると通り抜けの防止になるので、併せて依頼することで合意を得ました。

・暮らし安心・安全見守りカメラについて

以前、環境委員・PTA・小中学校の先生方と東町全域を回り、性別、年代層など出来る限り広い視点により、地域合意形成をして設置場所を選定しました。

2018年秋、100%カメラの更新が完了したとの報告がありました。

赤いランプが点灯していたらカメラは回っています。

・豊中警察からのお知らせについて

豊中警察から、歩行者及び自転車専用道における原付通行の禁止について、ちらしの配付がありました。（12月16日の理事会にて、ちらしの掲示・各戸配付依頼）

以前と変わらず、自転車利用者のモラルが低いようです。

重大な事故（最悪死亡事故）という事態も十分あり得る上、未成年に対し多額の損害賠償金の支払いの判例もあるのが現実です。

事故を未然に防ぐ、同じ町の住民同士で加害者・被害者を出さないよう、皆で気を付けるべく、青少年健全育成会、PTAと連携して啓発を行うのがよいとの意見もありました。

・その他

築45年になるセルシーの解体に関して

6月の地震でアスベストが見える状態になっている。

今後予定される大規模な解体工事、再開発工事に際し、アスベストの飛散防止策を遵守するよう、関係機関に申し入れる事を確認しました。

2. 協議事項

・アダプト活動がじゅうぶんに認知されていないので、ビラを作成して各マンションに掲示して活動啓発を行う事で合意しました。

・ここ数年実施していない「まち歩き」、「長谷池の藻の清掃」を、次年度は計画してみるのがよいとの意見がありました。（次回以降検討）

・委員よりもみじ橋通りに面した、OPHの敷地内にベンチを設置する予定があるという話がありました。OPHに事前に打診がないことと、以前同じ場所にベンチを設置する案が出た折に、OPHの住人から強い反対があったので、今回の件も一旦預かりということになりました。

*もみじ橋通りは起伏もあり、高齢者にとって負担のかかる生活道路です。委員会、協議会としても、あと数か所程度、休憩できる場所（長ベンチ、スツールなど）の必要性は認識しています。⇔2019年度「まち歩き」実施にて集約する。

・東町公園のグラウンドにある倉庫についてですが、現在8割がたグラウンドゴルフの道具類が入っており、本来の目的であるアダプト用具がきちんと入れられない状態です。

現状だと「かぐや」の道具をいれられないので、近いうちに豊中市職員立ち合いの元、グラウンドゴルフのメンバーと倉庫の使い方について話し合いを持ちたいと思います。

・台風被害による倒木の撤去などに関し、一部住民より提言のあったチェーンソーの購入は、取り扱いの難しさ・危険性、どこに保管し誰が扱うのか？という点が懸念されるので、協議会としては購入しない事で合意しました。

・次年度予算について

次回以降の委員会にて、次年度事業計画、予算案の検討に入るので、各委員がそれぞれの団体に持ち帰って次回以降検討する事としました。

次回委員会の予定

2019年2月開催（日時未定）

以上

近隣センター移転計画対策委員会 会議録

近隣センター移転計画対策委員会
委員長 小川浩一

【日時】 2018年12月11日（火）19：00～20：00

【場所】 東町会館1階集会室

【出席者】 委員長：小川 副委員長：清水 委員：勝久、太田、谷口、石丸、上田、西田
市千里ニュータウン再生推進課 岩崎、坪井
欠席：山本、寺村

委員会新メンバーより数点質問があり、それに対し豊中市より回答がありました。

（容積率、建蔽率、壁面後退などに関して）

その後、豊中市より、以前報告のあった全体計画、タイムスケジュールに関し、一点変更があると下記の通り報告がありました。

・新地区会館の内装、外観に対しての地域合意形成のタイムリミットは、2019年度末（2020年3月末）までに合意形成を確定して下さいとの依頼がありました。

協議事項

○地区会館の内装、外観に関するワークショップについて

・豊中市より提示されたタイムスケジュールに則り、2018年度中に1回（2月16日（土）予定）、2019年度に数回のワークショップを開催する方向で合意しました。

新地区会館の重要性を鑑み、ワークショップ開催告知ビラを全戸配布する事としました。

（1月20日開催の理事会にて配布予定）

また地域住民に加え、現会館利用団体（各教室を含む）にも周知する事で合意しました。

・新地区会館、会館周辺の立体模型について

専門家に確認したところ、製作費が最低でも10万円程度かかるので、立体模型は制作せずにパース（PCでデータを作成し、プロジェクターで投影出来るVRデータ）と、新地区会館レイアウト図など、数種の図面データをパネルボード（A1サイズ）として外注する事としました。

以上2種をワークショップで活用します。

*基本的なレイアウトは決定しているが、まだ若干の変更は可能との事。（豊中市に確認済）

*ワークショップに於いては、論点が分散しないよう、テーマを明確にする事で合意しました。
新地区会館の内装、外観イメージのみ。

具体例

1. オープンスペースの活用法
2. カフェのイメージ
3. 土足使用か上履き使用か（施設内）
4. アソカ幼稚園、医療センターなどとの相関性など